

■ 古仏画の模写研究

鈴木 空如

すずき くうによ

出身地 大仙市（旧太田町）

1873年（明治6年）～1946年（昭和21年）

東京美術学校卒業後、専ら古仏画の研究と模写に精進。特に長期にわたって法隆寺の壁画模写を手がけたことで知られる。生涯清貧に甘んじ、その作品と生き方から「画聖」と称される。



年譜

- 1873年 大仙市（旧太田町）に生まれる。本名・久治。
- 1892年 上京、長山蘭林に師事、日本画の基本を習う。
- 1898年 東京美術学校に入学。
- 山名貫義に師事、古仏画の模写をする。
- 1904年 東京美術学校研究科修了。
- 1916年 「聖尊図像」の編集に着手。
- このころ法隆寺金堂壁画の第1作に着手。
- 1932年 国宝名画模写展覧会を東京新宿三越で開催。
- 1936年 法隆寺金堂壁画模写第3作完成。
- 1946年 神奈川県で没。73歳。